

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2015

March
No.1037

3月

表紙

ほんべつ豆まかナイト“祈願！豆浴び”
JA本別町青年部 新津良明部長



ほんべつ雪あがりナイト
ほんべつ豆まかナイト



小雪混じりの強風が吹き荒れた
1月31日。
この日のために、
たくさんアイスキャンデルを
製作した人たちと
風で消えるろうそくに
何度も火を付けた
ボランティアの人たちの想いが結集し、
本別の夜が輝きに包まれました。

キャンデルの光に 魅せられて

ほんべつ豆まかナイトと同時開催となった今年のほんべつ雪あかりナイト(実行委員会主催)道の駅「ステラ★ほんべつ」で行われた開会式では、河合篤史実行委員長が「あいにくの天候ですが、豆まかナイトと一緒に、最後まで楽しんでいってください」とあいさつを述べ、引き続き点灯式で本別中央小学校1・2年生8人がアイスキャンデルのろうそくに火を灯すと、いよいよイベントがスタートしました。



登場したほか、銀河通りや大通りには、自治会や団体が趣向を凝らして製作したキャンデルタワーなどが多数お目見え。商店街には温かい食べ物や飲み物を提供する屋台が並び、多くの来場者が冷えた体を温めながら抽選会に参加するなど、キャンデルに魅せられた幻想的な一夜を楽しみました。



キャンデルコンテストの結果
最優秀賞Ⅱ ①共栄わらう会
優秀賞Ⅱ ②本別高等学校ポラントイアクラブ
雪あかりナイト賞Ⅱ ③弥生町有志の会 ④本別消防署
特別賞Ⅱ ⑤本別中学校 ⑥フオトファクトリー西村



- ⑦アイスキャンデルの点灯式
- ⑧河合篤史実行委員長
- ⑨元気くん雪像コンテスト金賞の平田雄大くん(左)
- ⑩子供たちに人気の雪中宝探し
- ⑪大型滑り台でチューブ滑りを楽しむ親子





アイスキャンドルが輝いた雪あかりナイトの夜。日本一の豆のまきを盛り上げようと立ち上がった、商工会青年部員たちと、豆を愛する町民の熱い想いが結集し、ほんべつ初の「豆まかナイト」が笑いと興奮に包まれました。

最高潮の熱気、150人全力豆まき

「日本一の豆のまちで豆まきしよう!」をテーマに、本別町商工会青年部(岡崎慶太郎長)が1年間かけ企画し実施された「ほんべつ豆まかナイト」(同商工会主催)。

会場の津村会館前特設ステージでは、大声選手権やもちまきなど盛りだくさんのイベントが繰り広げられました。中でも、祈願!豆浴びでは町内外から参加した10組が滝のように流れてくる20kgの豆を頭からかぶり、甲子園出場や安産などを祈願。お笑いステージでは、コウメ太夫と響の2組が、寒空のもと爆笑のお笑いネタを披露し、会場

を盛り上げました。同会館内で行われた「激」豆まきでは、薄暗闇の中、次々と登場する鬼目がけて約150人の参加者が1人2kgの大豆を力いっぱい投げ、会場の熱気は最高潮に。最後は岡崎部長が「皆さんのお陰でこの豆まかナイトを成功することができました。来年も楽しみにしてください」とあいさつしイベントが締めくくられると、会場からはひとときわ大きな歓声が沸き起こりました。

- ① 甲子園出場を祈願!本別高校野球部員瀬優斗主将
- ② 鬼は外!福は内!大声選手権で子供の部優勝の府川慧哉くん
- ③ 軽快なリズムで笑いを巻き起こしたコウメ太夫
- ④ 強風の中セーラー服姿でネタを披露した響の2人
- ⑤ 寒さを忘れて爆笑!
- ⑥ 大量の豆が飛び交った「激」豆まき
- ⑦ もちまきに夢中の来場者
- ⑧ 商工会青年部の岡崎部長
- ⑨ 商工会青年部員の夫人らによる、鬼嫁?
- ⑩ JA本別町青年部員も鬼で活躍
- ⑪ 金棒が迫力満点の本別消防団



4月から介護保険制度の一部が変わります！

介護保険制度は、介護が必要になった人が介護や支援、機能訓練などのサービスを受けられる制度で、国の制度のもと市町村が運営を行っています。今回、国において、生活支援の充実、高齢者の社会参加・地域における支え合いの体制づくりと介護保険制度の持続可能性の確保を踏まえ制度改正が行われ、4月より実施されますのでお知らせします。



制度改正のポイント → 3つが変わります

平成27年4月実施

● 特別養護老人ホームの入所基準が変わります

現在、特別養護老人ホームの入所基準では、介護保険の要介護1以上の人が入所できませんでしたが、今回の改正で、居宅での生活が困難な中重度を支える施設として機能が強化され、要介護3以上の人となります（すでに入所している人は引き続き入所できます）。ただし、4月1日以降の入所で、要介護1・2でも認知症等の在宅生活が困難など特例要件に該当する場合は入所が認められます。また、要介護3以上で入所した人が要介護1・2に変更になった場合でも、特例要件に該当すると認められるときには、引き続き入所できます。

平成27年8月実施

● 低所得の施設利用者の食費と居住費の負担軽減基準が変わります

特別養護老人ホーム、老人保健施設などの施設入所等にかかる費用のうち食費と居住費は原則自己負担で、今までは、非課税世帯に該当する利用者は軽減措置が設けられていましたが、今回の改正で次の場合は軽減措置の対象外となります。
【対象外となる場合】
・ 預貯金等が単身で1000万円超え、夫婦の場合で2000万円を超えている
・ 世帯分離している配偶者が課税されている
※ 軽減額は、本人の収入額によって変わります。今までは非課税年金（遺族年金、障害年金等）は、収入として算定されませんでした。平成28年8月からは収入として算定されるようになります。収入額に応じて軽減額が変わることがあります

平成27年8月実施

● 一定以上の所得がある人は、介護サービスを利用したときの利用者負担割合が2割になります

介護保険サービスの利用者負担割合は一律1割でしたが、所得が一定以上ある65歳以上の人についての利用者負担割合が2割に変更となります。

【2割負担となる場合】

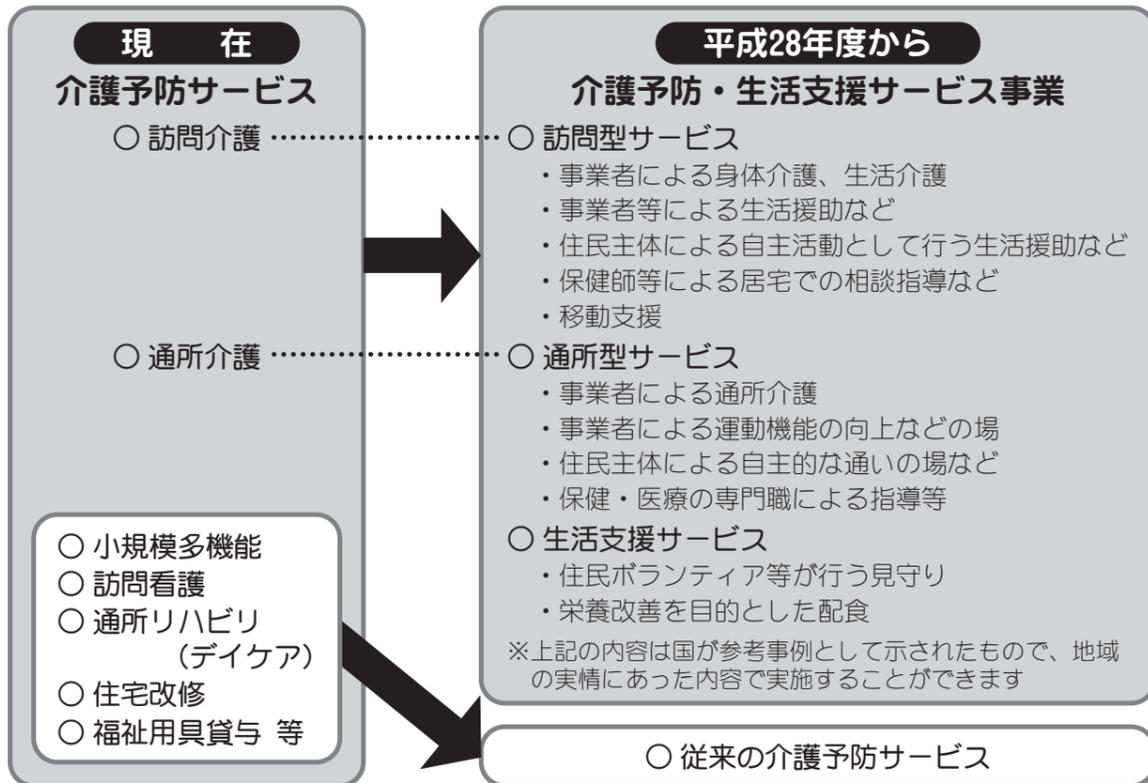
合計所得金額が160万円以上で年金収入+その他の合計所得が単身で280万円、2人以上世帯で346万円以上の人

※ 要支援、要介護の認定を受けた人全員に、自己負担額の負担割合証明証（1割または2割負担を記載）を発行します

平成28年度実施

● デイサービス（予防通所介護）、ヘルプサービス（予防訪問介護）のしくみが変わります

要支援者のデイサービス、ヘルプサービスは、サービス事業者による介護予防サービスが提供されていましたが、今後はサービス事業者のほか、ボランティア等による多様なサービスが提供される介護予防・生活支援サービス事業に移行されます（全国一律のサービスからサービス内容や利用料金などは地域の実情にあわせて市町村によって設定される市町村事業として平成29年度までに移行）。また、介護認定を受けなくても基本チェックリスト（日常生活機能の確認票）による判定で利用が可能となります。



※平成27年度は従来のサービスを提供しながら、体制整備や実施方法等の検討を行っていきます

問い合わせ 総合ケアセンター内 介護保険担当 ☎22-8520

被害にあわないためのポイント

- 電話の相手や内容を信じない。すぐに家族や周囲の人に相談する
- うまいもうけ話には安易にのらない
- 必要のないものは、きっぱり断る。知らない業者を家に入れない
- 心当たりのない請求は無視する
- 知らない相手からの荷物は受け取らない



困ったときの身近な相談窓口

普段の心構えや正しい対処法によって、被害を未然に防ぐことが最も有効ですが、万が一の場合や、周りに相談できる人がいないときなど、1人でどうしたらいいか悩んでしまうこともあるかもしれません。

そういったときは、すぐに消費者協会や役場の担当窓口、警察署など専門の機関に相談してください。相談内容などの情報は、厳重に守られますので安心してください。

○本別消費者協会

定期的に消費者相談員による相談窓口を北3丁目アースホールで開設しています。

(毎月第1・3月曜日)

また、随時事務局において相談を承ります。(平日の午前8時30分～午後5時15分)

事務局：役場企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎22-8121

○本別警察署生活安全係 ☎22-0110

○消費者ホットライン(消費者庁) ☎0570-064-370



本別消費者協会とは?

★こんな活動をしています

本別消費者協会(平田峻太会長)は、昭和46年より町内の消費者へ消費についての正しい知識の普及や消費生活の安定と向上を目的として活動しています。

現在は、町内の各種イベントや、日々のPRをはじめ、「商品量目試買調査」や「消費生活モニター価格調査」、「灯油・ガソリン・LPガスの価格調査」など、消費者を守るための調査啓発や日常生活に役立つ情報の発信など、消費に関するさまざまな活動を行っています。

★会員の募集をしています

本別消費者協会は、現在116人の個人と2つの団体で組織されています。

消費者の生活を守る重要な活動を継続していくためには、多くの会員の協力が必要です。

消費者協会の活動は、消費者にとっての大切な情報を、常に最新の状態で得られるなど、多くの魅力とやりがいがあります。

加入にご興味のある人は、ぜひお問い合わせください。

問い合わせ

本別消費者協会事務局 役場企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎22-8121

全国的に、悪質商法や特殊詐欺の被害が、年々増加しています。町民の皆さんも、「自分は大丈夫」と油断せずに、絶対被害にあわないための知識や心構えをいま一度確認しましょう。



どんな手口があるの??

悪質商法や詐欺の手口は、どんどん多様化、複雑化しています。その中でも、特に高齢者や未成年を狙った悪質な手口の一部を紹介します。

●振り込み詐欺

電話で身内や警察、弁護士などを名乗る人から、他人に相談しにくい内容や理由を告げられて、口座振込や郵送によりお金を要求してくる。

●送りつけ商法

「注文の商品を送ります」と電話があり、数日後に商品と請求書が一方的に送られてくる。

●点検商法

「無料で住宅や布団などを診断します」と強引に家上がりこみ、一方的な説明の後に、その場でリフォームや修理の契約をさせられてしまう。

●架空請求詐欺

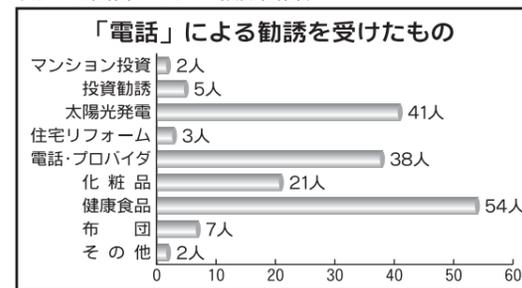
利用した覚えがない有料サイト利用料金を、電子メールや郵便で一方的に請求され、現金の振り込みを要求される。振り込まないと訴訟を起す脅される場合もある。



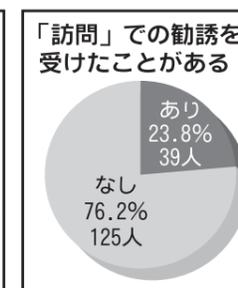
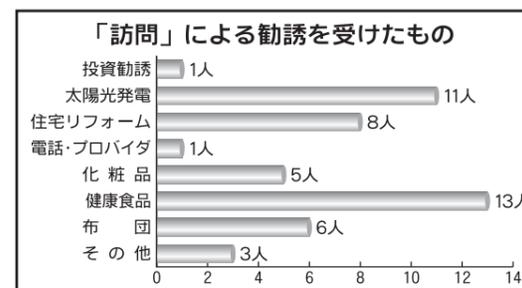
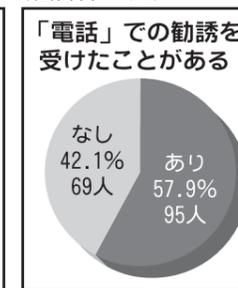
気を付けて! 悪徳商法や特殊詐欺



(ありと回答した人：複数回答)



(回答者164人)



詐欺につながる勧誘

本別消費者協会では、11月22日に開催された「いきいきほんべつふれあい祭り」において、来場者を対象にアンケートを実施しました。その結果、多くの人が、この1年間に迷惑と感ずるような、電話や訪問による勧誘を受けていたことがわかりました。

これまでに、被害の届け出や報告はありませんが、この勧誘の電話や訪問が、大きな被害をもたらす第一歩であることは間違いありません。

みんなで守る三本別町



本別消防団では、消防団員を募集しています。
あなたが育った町、暮らす町、働く町。この町の安心・安全の守り手として消防団への入団を心からお待ちしています。

消防団員 募集中!

あなたの力で
救われる人がいる

消防団員のやりがいは、地域に暮らす自分自身が地域のために働き、身近な人の役に立てること。そして、年齢も職業もさまざまな仲間と出会い、人としても大きく成長していけることにあります。

- 募集人員** 若干名
- 応募資格** 本別町内全域に居住する満18歳以上の健康な人、消防防災活動・ボランティア活動に興味のある人
- 活動内容** 火災等災害出動・定期訓練・火災予防運動等
- 処遇等** 各種出動手当・公務災害補償・制服等被服貸与等
- 応募方法** 消防団入団希望の人は、お近くの消防団員または本別消防署（消防課消防係）☎22-2007にご連絡ください

緊急時輸送協力協定 締結式



この協定は、大災害発生時または災害発生時の恐れがある場合に、町の要請により食料品や医薬品などの救援物資や生活機能回復のための建築資材など、優先的な物資輸送の協力体制について定めています。

調印式で高橋正夫町長は、「鉄道が無くなったこの地域の輸送手段としてはトラックがなくてはならない存在であり、災害時の救援物資等の輸送協力に心から感謝します」と感謝の言葉を述べ、沢本会長は「トラック協会は地域の農業に支えられていると常日ごろから思っており、災害時や大きな事故が起きたときには、全力で協力させていただきます」と話しました。

同協会と十勝管内自治体との協定締結は3市町目で、災害発生時のほか有事の際の緊急出動に対応するため、災害訓練の積極的な参加協力なども含まれています。

災害時の救援物資輸送体制を強化

町と十勝地区トラック協会（沢本輝之会長）による緊急時における輸送業務等に関する協力協定締結式が2月16日、町体育館で行われました。



川上鎌加小遠越内石
口出田藤川藤後田川
結桃も一っ大ま祥さ一い碧あ 瑞みず
心ん子こ輝き翔と生お護ご斗と仁ん桔き
鈴鈴篠佐佐佐佐相今
木木田藤藤藤木樂野
日脩し優ゆ真ま花は聡さ凜ん莉り健けん
和わ子こ互ご羽う菜な香か生佳か子こ 健けん 太郎たろう

廣半原浜新中中友富瀧高
田谷野津野田坂田澤
湧ゆ琉る綾あ華か匠しよ颯さ雅か公こう果か亜あ優ゆ
士し生い音ね羽は映え士玖く祐すけ琳りん衣い奈な

渡渡吉吉弓門水真前
部邊村田削田木鍋田
泰た瑛い一ら 天な菜ま沙さ知と桂けい
丈ぞう太た冴さ黎れん翔と桜お羽わ暉き都と

本別中央小学校 (39人)

町教育委員会では、今年4月に小学校へ入学する児童の名簿を作成し1月末に保護者宛に就学通知書を送付しています。今年の新1年生は、平成20年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた児童で、本別中央小学校39人、勇足小学校6人、仙美里小学校7人の合わせて52人です。該当する人で名簿からもれていたり、就学通知書が届いていない人がいましたら、早めに教育委員会管理課学校教育担当(☎22-2331)にご連絡ください。

※個人情報保護により保護者から了解を得た対象児童のみ掲載しています



平成26年度 本別中央小学校入学式

湯山新佐佐江天
山田津木川田池
詩し結ゆ美みも夏な 陸りく
織お衣い羽うも希き愛あい人と

仙美里小学校 (7人)

吉星武小石井
川市島上内
琉蒼そかん心し櫻さき
毅き来らな維い温お子こ

勇足小学校 (6人)



(2月23日現在)

Information

住民総参加型スポーツイベント

CHALLENGEDAY

平成27年度も開催決定！昨年記録した住民参加率64.3%突破を目指して頑張りましょう！

- とき** 平成27年5月27日(水) 午前0時～午後9時
- ところ** 町内ならどこでもOK
- 対象** 子どもから大人まで



チャレンジデー2015
オフィシャルスポンサー
募集中!



チャレンジデーとは？
毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベント。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を対戦相手と競い合うものです。敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎メインボールに1週間掲揚し相手の健闘をたたえるユニークなルールが特徴です。

問い合わせ 実行委員会事務局(町体育館内スポーツ担当) ☎22-2331

詳しくは 住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128

ケース2
扶養者だった本人の収入が増えて配偶者の健康保険の被扶養者から外れた
この時切り替え手続きが遅れ未納期間が発生している人

〈手続きの流れ〉

- ① 特定期間該当届の提出
未納となつている期間を特定期間化する届出で、切り替え手続きが遅れ収めることができなかつた「未納期間」が受給資格期間に算入できるようになります。
- ② 特例追納Ⅱ「国民年金後納・特定保険料納付申込書」の提出
①の提出により特定期間とされた期間について、国民年金保険料を納付するための申し込みで、最大10年分の保険料を納めることができます。
特定期間とされた期間では年金額に反映されませんが、次の期間のうち未納分の保険料を納めることにより年金額を増やすことができます。
- 60歳未満の人：過去10年間以内の保険料
● 60歳以上の人：50歳以上60歳未満の保険料
ただし、「特例追納」ができる期間は平成27年4月から平成30年3月31日までです。

※ご注意 すでに年金を受け取っている人については、特例追納をしても年金額が増えない場合があります。

**国民年金
コトナシ**

特定期間該当届出・特例追納制度のご案内
その155

● 次のケースの人が該当となります

ケース1
会社員・公務員だった配偶者が
・退職した
・脱サラして自営業を始めた
・65歳を超えた
・亡くなった
会社員・公務員だった配偶者と離婚した

国民年金の第3号被保険者(厚生年金や共済組合の加入者に扶養されている配偶者)が扶養から外れ、第1号被保険者への切り替え手続きが遅れたことにより、2年より前の国民年金保険料が時効で納めることができず未納期間がある人について、「特定期間該当届出」の手続きを行うことによって、無年金や年金の減額を防ぐ場合があります。
また、平成27年4月から3年間の時限措置で、「特定期間」制度が施行され、特定期間該当届出の手続きをした期間について、保険料を納付することにより年金額を増やすことができます。

HELLO 勇足中学校

勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靱で粘り強い体を鍛える

「知」「徳」「体」バランスのとれた教育



理科：今日見える星座は？



毎朝10分間の朝読書



全校道徳：ケイタイ使用安全教室



保健体育：剣道



ウィンタースクール



道徳：「困難に立ち向かうために」



校内駅伝記録会



小中連携：新体力テスト

全職員による毎日の家庭学習の点検等、基礎・基本の定着を図るとともに活用する力、学習意欲の向上等を図る授業改善を推進しています。また、地域への情報発信や地域からの情報・要望収集等、双方向のコミュニケーションの確立を図るとともに、学校評価結果等の活用による学校改善にも取り組んでいます。今後も小規模校の特性を生かした授業や学校行事等、個々の状況に応じたきめ細やかな対応、相談活動の充実に努めています。

子ども・子育て支援事業計画を策定しています

シリーズ 子どもの笑顔があふれるまちづくり Part 10

現在本別町では、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間とし、子ども・子育て支援事業計画を策定しています。

この計画では、平成25年11月に実施したアンケートを基に、計画期間中の幼児期の学校教育（幼稚園教育）、保育や、一時預かり事業、病児・病後児保育事業など、さまざまな子育て支援サービスの必要量を推計し、それに対してどのように対応するか、また、国で設置を推進している認定こども園の整備についての考え方など、本別町子ども・子育て支援協議会の意見をいただきながらまとめます。



事業計画案の概要

● **幼児期の教育・保育**
小学校就学前の子どもについて、幼稚園、保育所それぞれの利用希望に対しては、すでにニーズを満たしています。今後も待機児童等が発生しないよう、引き続き体制を整えるとともに、これまで以上に教育・保育の質の維持・向上を目指します。

● **地域子ども・子育て支援事業**
一時預かり事業や放課後児童健全育成事業（学童保育所）をはじめとするさまざまな子育て支援に関する事業（子ども・子育て支援法第59条に定める13の事業）の利用希望に対しては、ほぼニーズを満たしていると考えています。一部体制の強化が必要な事業もある



り、今後も利用しやすい事業の展開に努めていきます。

● **認定こども園の整備**
子どもの健やかな育ちを第一の視点とし、保護者の利便性等も考慮しながら、今後検討を進めます。

● **本別町次世代育成支援対策推進行動計画（後期計画）の検証**
平成22年度から平成26年度までを計画期間とする本別町次世代育成支援対策推進行動計画（後期計画）の検証を行うこと、子育て支援分野の総合的な計画として本別町の方向性を定め、今後も継続して各種事業の取り組みを進めます。



※このシリーズは今号が最終回です

問い合わせ

子ども未来課子ども・子育て支援担当 ☎22-8130



中学校生活に期待 24

本別中学校（山口弘康校長、147人）1日体験入学が2月4日、同校で行われました。平成27年度に同校に入学する本別中央小6年生45人、仙美里小6年生5人が対象で、児童らは、国語の授業では2年生の先輩たちとともに古典に親しむ百人一首対決に、数学では、図形の一筆書きに挑戦。本別中央小から参加した齊藤翼くんは、体験授業終了後「どちらの授業も楽しかった。先生も優しく教えてくれたので入学が楽しみになりました」と話し、児童らは中学校生活への心構えを整えながら、期待に胸を膨らませました。



人口減に歯止めを 22

本別町まち・ひと・しごと創生推進本部（本部長＝高橋正夫町長）第1回の会議が2月2日、役場で開かれました。同推進本部は、本町の人口減少を克服し、将来に渡って活力ある地域を維持するため、「本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：平成27年度から5年間）」を策定・推進していくもの。会議では、担当職員より同戦略の概要などについて説明があったほか、国からの交付金も活用しながら、本町の消費喚起や生活支援策にスピード感を持って対応していくことを確認しました。



キレイマメ新商品を検討 127

十勝本別「キレイマメの会」（岡田清信代表）の今年度2回目となる会議が1月27日、南3丁目のCANONAJAPANで開かれました。会議には、同会加盟の6企業と2協力団体などが出席。前回の会議で発表されたキレイマメシリーズの新商品候補のうち、改良された3品を試食し、出席者全員で味や食感、パッケージデザインなどについて意見を交わしました。同会のアドバイザーである武蔵野美術大学の宮島慎吾教授は、「キレイマメ商品は種類が少しずつ増え、広がりを見せてきている。市場動向を見ながら、今後も多くの人においしいと言ってもらえる商品開発を進めましょう」と述べました。



あたたかい給食に感激 120

本別高等学校（児玉佳範校長、168人）への学校給食提供が1月20日から始まりました。同校での給食は希望者を対象としており、今年度内は3年生を除く1・2年生79人が空き教室を利用していただいています。1月22日には、本別高校の教育を考える会の我妻勇次会長と古川一司副会長も生徒と一緒に試食。陸別町から通学している上村風薫さん（2年）は、初めての給食に「量もちょうど良く、あたたかくておいしい。弁当作りの手間もなくなりうれしいです」と笑顔で話していました。



雪まみれでもニコニコ 27

少年少女冬のレクリエーションの集いとあかげら少年団後期第3回が2月7日、河川運動公園芝生広場で開かれ、町内の幼児から小学生35人が雪上でのゲームを楽しみました。子供たちは、初めに町スポーツ推進委員とともに準備体操をした後、3チームに分かれてチーム対抗の二人三脚やラグビーボールリレー、スノーフラッグなどに挑戦。最後はお楽しみの雪中宝探しも行われ、景品を見つけた子供たちは、雪まみれになりながらも笑顔を弾ませていました。



火遊び鬼をやっつけるぞ！ 23

本別カトリック幼稚園（岩淵つた子園長、44人）防火豆まきが2月3日、同園で行われました。これは、節分の豆まきに合わせ、子供たちに火遊びの怖さも学んでもらおうと本別消防署の協力により毎年行われているもの。園児らは、「ドンドン！」とドアを叩く音に続いて教室に入ってきた“火遊び鬼”目がけて「鬼は外！」と大きな声を上げながら力いっぱい豆を投げ、最後に「絶対に火遊びはしません」と鬼と約束しました。



結成60周年の節目を祝う 128

JA本別町女性部（井出克子部長）の創立60周年記念式典が1月28日、関係者約100人が出席し中央公民館で開かれました。式では、物故者への黙祷に続き井出部長が「先輩たちがご苦労され切り開いた道にさらに新しい道を築き、女性部の活動を進めていきたい」と式辞を述べた後、歴代部長の3人に感謝状を贈呈。同女性部の60年のあゆみをスライドで紹介したほか、コスモス会、女性部、フレッシュミズ3部門の活動報告が行われました。式典の最後には、同部員手作りの料理で昼食会が開かれ、苦労話や思い出話などを語りながら60年の節目を祝いました。



消防意見発表会で優秀賞受賞、全道大会へ 122

1月22日に帯広市消防本部で開かれた、第39回道東地区消防職員意見発表会において優秀賞に輝いた本別消防署の永井祐考消防士長が同日、役場を訪れ高橋正夫町長に受賞を報告しました。十勝管内のほか、根室や網走地区などから19人の消防職員が出場した発表会で、永井消防士長は「生まれる。」と題し、分娩介助業務の経験から感じた救急救命士の責任の重さ、日々の訓練の重要性などを5分間のスピーチで発表。4月に札幌市で開かれる全道大会の出場権も獲得し、永井消防士長は「全道大会では、自分の経験を多くの人に聞いてもらい、妊婦さんを安全



に搬送するための消防体制強化につなげていきたい」と意気込みを語りました。



心を伝える 文章術を学ぶ

2 14

本別町成人講座エッセイ教室が2月14日、帯広市民文藝編集委員の東館千鶴子さんを講師に中央公民館で開かれました。東館さんは、「書く」ことの効用や文章の構成、表現のコツなどを説明したうえで、「難しい言葉は使わず、自分の思いを自由に書いてみて」とアドバイス。参加した16人は、東館さんの話に熱心に耳を傾けながら、心を伝える文章術を学びました。



計画の概要を 説明

2 13・16・17

第6期銀河福祉タウン計画と第5期障がい者保健福祉計画、第4期障がい福祉計画策定に伴う地域説明会が2月13日から17日の3日間、町体育館など3会場で開催され、約90人が出席しました。説明会では、町担当者から「まちぐるみの支え合い」を基本理念においた計画の概要や特徴的な施策、障がい者施策の取り組みなどを説明。意見交換では、出席者から「老朽化している特別養護老人ホームを早期に建て替えてほしい」「利用料など低所得者への配慮をしてほしい」などと要望が出されました。



地域ぐるみで 支える大切さを学ぶ

2 10

平成26年度認知症医療ケア講演会が2月10日、砂川市立病院認知症疾患医療センター内海久美子センター長を講師に迎え、総合ケアセンターで開かれました。「地域における認知症の治療とケアの連携」と題した講演で内海センター長は、「認知症の早期発見、治療につなげるため、医療機関やケアマネージャー、町内会など地域ぐるみで見守り、支える仕組みづくりが大切」と話し、実際の取り組み事例や認知症の症例などを紹介しました。参加した町内医療機関や高齢者施設担当者など約80人が、認知症への理解と地域全体での取り組みの大切さを学びました。



力強い滑りを展開

2 7

本別町スケート協会（北口義美会長）主催の第52回本別町スピードスケート選手権大会が2月7日、町民スケートリンクで開催されました。大会には、町内の幼児から小中高生、一般まで33人が出場。選手らは、日ごろの練習の成果を発揮し自己ベストの更新を目指すとともに、父母らの声援を受けながら、ゴール目指して力強い滑りを展開しました。



白熱！キンボール

2 15

本別町スポーツ少年団交歓大会（町スポーツ少年団本部主催）が2月15日、町体育館で開催されました。大会種目は、直径122cm、重さ約1kgのボールを使い、サーブやレシーブを繰り返して得点を争う「キンボール」という室内競技。1チーム3試合の予選と決勝戦の全21試合が行われ、町内の10少年団から出場した20チームの子供たちは仲間の声援を受けながら優勝目指して白熱した戦いを展開しました。



笑い交え多彩な ステージ

2 14

第33回勇足地区公民館まつり（実行委員会主催）が2月14日、同公民館を主会場に開催されました。会場には、同地区の幼児や小・中学生などによる工作、絵手紙など多数の作品が展示されたほか、2部に分かれた芸能発表会では、11団体25個人が出演。お遊戯やカラオケ、ダンスなど笑いを交えた多彩なステージが繰り広げられると、会場からは花束や温かい拍手が送られました。



もちつきで交流

2 12

陽だまりの里もちつき交流会が2月12日、仙美里地区公民館で開かれました。参加した同施設利用者や仙美里地区公民館利用者など約50人が、本別もちつき保存会十五夜会（菅原信子会長）の会員8人の協力のもと、3臼のおもちを一緒につきながら交流しました。参加者たちは、つき上がったおもちを雑煮やあんこ、きなこもちにしておいしくいただいたり、歌体操で体を動かすなど、楽しい時間を過ごしました。



やさしい マッサージに笑顔

2 9

家庭教育支援事業「なかよし」によるベビーマッサージ＆ママのためのオイルマッサージ講習会が2月9日、町内在住のアロマセラピスト内田さとさんを講師に迎えて健康管理センターで開かれました。内田さんは参加した7人のママへ、ベビーマッサージの効果のほか、「赤ちゃんに声掛けしながらマッサージして、スキンシップもたくさんしてください」とアドバイス。ママのやさしい手で体をなでてもらった赤ちゃんは、声を出したり、かわいらしい笑顔を見せていました。



積極的な 競技を展開

2 22

本別陸上クラブ（我妻勇次会長）主催による第35回本別町室内陸上競技会が2月22日、銀河アリーナで開催されました。大会には、24種目に町内外の小学生から一般までの262人がエントリー。選手らは、冬のトレーニングの成果を出そうと、トラックやフィールドで積極的な競技を展開し、本格的陸上シーズンを前に仕上がりを確認しました。



世代超え、 150人もちつき

2 19

ゆうあいの里地域交流もちつき会が2月19日、勇足地区公民館で開催されました。この交流会は、同地区で活動するゆうあいの里、ゆうゆうサークル、勇足生きがい館、福寿草の会の4団体で計画・実施されたもの。参加した同地区の小学生から高齢者まで約150人は、もちつきや、ついたもちであんこを包む作業をみんなでを行い、おいしくいただくなど世代を超えて交流しました。



お寿司や カラオケを楽しむ

2 17

町老人ホームで本別昭和16年巳年会（桑田達一会長）会員7人の慰問による交流会が2月17日、同施設で行われました。同会員らは、まぐろやえび、サーモンなどのお寿司のにぎりを同施設入所者や利用者の80人の前で実演して振る舞いました。入所者らは、「おいしい」などと満面の笑みを浮かべながらお寿司を堪能したほか、カラオケなども一緒に歌うなど、楽しいひとときを過ごしました。



子供たちが魅力を 持てる農業経営を

2 16

平成26年度第3回本別町農業塾（町営農対策協議会主催）が松橋農場（更別村）の松橋泰尋社長を講師に2月16日、農業後継者など26人が参加し町体育館で開かれました。松橋社長は、「松橋農場の取り組みから現在まで。そしてこれから」と題し、農産物を生産するだけではなく、消費者へ直接販売し、生産から販売まで一環した農業経営や地域の農家がこだわりを持って生産した食材を直接提供するレストラン経営など地産地消の取り組みについて話しました。地域のことを考え、地域と一体となり農業経営に取り組むことにより、「子供たちが魅力を持ち、継ぎたい職業、なりたい職業No.1になってほしい」と述べました。



碁盤見つめ、 真剣勝負

2 22

第35回町民囲碁大会（町文化協会主催）が2月22日、老人福祉センターで開催されました。大会はA・B2階級制によるリーグ戦で行われ、町内の囲碁愛好家12人が参加。静まり返った会場内では、参加者らが日ごろの鍛錬の成果を発表するとともに、碁盤を見つめながら真剣勝負を繰り広げました。



乳製品を たくさん食べよう

2 20

本別町食生活改善推進員協議会（小泉優子会長）による牛乳料理講習会が2月20日、健康管理センターで行われました。これは、JA本別町の協力を得て、牛乳・乳製品の消費拡大を目的に実施されたもので、同協議会の会員13人が参加。ホタテとナスのチーズ焼き、ごぼうのクリームスープなど乳製品を使った4品を調理し、完成後は関係者を招いて全員で試食しました。



全国大会目指します

2 18

標準記録を突破し2月21日、22日に千歳市で開催される第37回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会北海道予選会に出場する本別水泳スポーツ少年団（及川哲夫代表）の団員4人が2月18日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長へ出場報告をしました。選手らは「自己記録の更新をしたい」「全国大会目指し頑張ります」と意気込みを述べ、中野教育長は「体調管理をしっかりし、頑張ってください」と激励しました。



大会では、全国大会出場は果たせなかったものの、自己ベストを更新するなど健闘しました。

昔の暮らしは大変だ

2 17

本別中央小学校（帰山孝美校長）3年生52人が2月17日、歴史民俗資料館を訪れ昔の生活道具を体験しました。これは、社会科の授業「くらしのうつりかわり」の中で行われたもので、児童らは、資料館友の会会員10人の協力のもと、足踏みミシンや洗濯板など10種類の道具に挑戦。炭火アイロンにチャレンジした吉村華瑠さんは、「アイロンが重くてびっくりした。昔の人の暮らしは大変だと思った」と語りました。



みんなの健康

367

慢性腎臓病 (CKD)について



慢性腎臓病 (CKD) とは、何らかの腎障害が3カ月以上持続する場合と定義されています。患者さんは、成人の8人に1人いると考えられ、新たな国民病ともいわれています。

慢性腎臓病があると、脳卒中や心筋梗塞などの心血管病発症のリスクが高くなることがわかってきており、病状が進行して腎不全になると体内から老廃物を除去できなくなり、最終的には人工透析や腎

移植が必要になります。

慢性腎臓病は、その重症度に応じて、ステージ1からステージ5の5段階に分けられ、その指標となるのが蛋白尿と推算糸球体濾過量 (eGFR) です。eGFR値は血中クレアチニン値と年齢、性別から計算で求められるもので、腎臓にどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示しており、値が低いほど腎臓の働きが悪いということになります。また、この計算式は18歳以上が対象で、当院では、血中クレアチニン値を測定すると報告書にeGFRの値と一緒に記載されるようになっています。

慢性腎臓病は初期には自覚症状がほとんどありません。貧血、疲労感、むくみなどの症状が現れたときには、病気がかなり進行している可能性がありますので、健康診断などで定期的に尿検査や血液検査を受けることが早期発見につながります。

本別町国民健康保険病院
臨床検査室
技師 成田 祐輔

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくましの愛に包まれてすくすく元気に育つてね!



柏木町
内田 帆高 (ウケムス)



弥生町
前田 百福 (晶子ママ)



錦町
横山 風奏 (木乃実ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

「本別町に特別支援学校(高等部)の設置を求める署名」の提出について

日頃より障がいのある子、並びにその保護者に対しまして、温かいご支援を賜り感謝申し上げます。

先に、町民の皆様にご協力またご賛同いただきました「本別町への特別支援学校(高等部)の設置を求める署名」、7,750筆を1月19日に北海道教育委員会教育長 立川宏様へ要望書と共に提出して参りました。立川教育長様には、思いを重く受けとめていただき、特別支援教育の充実に努力していただく旨のお言葉を頂きました。

今回の署名活動に際し、ご支援をいただき誠にありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。これからも、障がいを持つ子供たちが、生まれ育った地域で、親元から通学できる環境を整備して頂くよう活動を続けてまいりますので、今後ともどうか変わらずご支援を頂きますようお願い申し上げます。



そのの会(本別障がいの子をもつ親の会) 代表 土本直美
事務局長 井出直美

ご寄付ありがとうございます 平成27年1月16日から2月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町養護老人ホーム物品等購入費指定
金100,000円 勇足西5 加藤恵美子

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付	
各金10,000円	岐阜県 新美次男 東京都 小澤公樹 東京都 西野忠 富山県 加藤泰三 東京都 小野寺時男 札幌市 石丸貞雄 匿名 39人
金200,000円	札幌市 石丸貞雄
計金390,000円	匿名 39人

銀河ホップアラビヤダンス

足寄町

ネイパルあしよる

「感謝感謝のフロアカーリング大会」

北海道発祥のフロアカーリングで、運動不足を解消しませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

□とき 3月15日(日)
午前8時から

陸別町

第27回日産カップ オールジャパンパッチ 選手権大会in陸別

大人のためのパッチ(メンコ)の大会です。「もっ一度あのころの腕を振りたい」そう思っているあなたへぜひご参加ください。

□とき 3月15日(日)
午前10時から

□ところ 道立青少年体験活動支援施設 設ネイパルあしよる

□参加対象 小学生から一般までの4人1チーム

※小・中学生、親子チームは6人まで登録できます

□定員 16チーム(先着順)

□参加料 1人100円

□詳細 道立青少年体験活動支援施設 設ネイパルあしよる
☎2516111

□ところ 陸別町タウンホール

□参加資格 20歳以上の男女

□参加料 1700円

□参加申込 電話で先着96人

□問い合わせ・申込先 陸別町役場産業振興課内 大会事務局
☎2712141 内線135



本のある暮らし 168

戸籍のまど

おくやみ

1月後半から
2月前半の
届出分

我妻戦吉さん	70歳	1/18	新 町
畠山鶴光さん	89歳	1/18	柏木町
森 昭治さん	87歳	1/20	北4丁目
吉田秀俊さん	59歳	1/21	勇足西2
半澤夏喜さん	88歳	1/23	新 町
中西仙太郎さん	102歳	1/27	向陽町
山内タマエさん	91歳	2/4	新 町
佐藤勝子さん	80歳	2/8	向陽町
鷲巣郁子さん	60歳	2/11	南4丁目

保育所で図書館の本を借りよう

～ご家庭での読書活動を応援!～

図書館では、おすすめの絵本30冊をセットにした「としょかんえほんばこ」を町内の各保育所に設置しています。今までは保育所内での利用のみとなっていたのですが、利用者の皆さんの声にお応えして、個人に本の貸し出しができるようになりました。

子供たちが1冊でも多くの本と出会い、その本が心の成長になることを願っています。ぜひ、お母さんお父さん、ご家族の皆さんで本とのふれあいを楽しんでください。

貸出方法

- 各保育所の貸出簿に日付、書名、名前、返却時に✓(チェック)を記入
- 貸出期間…1週間
- 貸出冊数…1回につき2冊まで
- ※1か月で他の保育所と本を交換しますので、最終返却日の確認を忘れずをお願いします



今日はこの本にしようかな♪



送り迎えのときに借りられるのがうれしい!



～本のリクエストやお問い合わせはお気軽に図書館へどうぞ!～

わたしたちのまち

前月比

人口	7,706人(-23)
男	3,786人(-14)
女	3,920人(-9)
世帯数	3,743戸(-11)

〔1月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112